

京都芸術劇場ニュースレター

歌舞伎俳優



市川猿之助
上妻宏光
茂山逸平
亀井広忠
田中傳次郎

能楽師狂言方



三味線プレイヤー

歌舞伎囃子方



能楽師囃子方

5月10日(土) 15:30

11日(日) 12:00/15:30

京都芸術劇場 春秋座 芸術監督プログラム
ゴールドリボン+世界の子どもにワクチンを チャリティー企画

伝統芸能の今 2014

市川猿之助×亀井広忠×田中傳次郎

『伝統芸能の今』を語る！

当劇場芸術監督・市川猿之助が亀治郎時代の09年から関わるこの公演。伝統芸能の新時代を作り出す旬な方々とコラボレーションしながら、チャリティー活動を行う企画として、これまでに総額2200万円を団体に寄付してきました。この公演を行うようになったきっかけをお伺いしました。

「20代で猿之助さんは【亀治郎の会】を主催して、私共三兄弟（亀井広忠・田中傳左衛門・田中傳次郎）は【三響會】を主催して、ひたすら走り続けてきました。猿之助さんも我々も30代になり、自分達が活動することの意義を見つけたいと周りを見ますと、スポーツ界も相撲界もどこもチャリティー活動を行っている。そこで自分達で調べて、この2団体へのチャリティーをやりたいと思ったんです」2団体のうちの一つ、ゴールドリボンは小児がんの子供を支えるNPO団体。現在医療費は国が負担してくれるが、社会復帰のケアは各家庭が行っている。しかし、そこには「でも、経済的な問題もあるし、子供も引け目を感じたりします。そういった経済面や心のケアに使っていただくお金を集めようと思ったんです」

— 傳次郎

「始めは、こんなにも大掛りなことをやろうとは思わなかったんですが、いつのまにか続いて気が付いたら大掛りになってしまいました。周りの方々のおかげですね」

— 猿之助

「今までは世間様に頂戴するばかりでしたが、30代になったら、お返ししていかなければいけない。それと世の中とどう関わっていくのか。この2つが趣旨でもあります」

— 広忠

今回は三味線プレイヤー・上妻宏光と狂言師・茂山逸平とも共演。亀井広忠の大鼓と田中傳次郎の小鼓に上妻宏光の三味線が加わった茂山逸平の創作『三番三』、市川猿之助の舞で華を添える上妻宏光・田中傳次郎のオリジナル曲『空破』、歌舞伎と狂言による『石橋』など古典から創作まで幅広く伝統芸能の「今」を披露。「今」この時しか出会えないジャンルを超えた熱い舞台をご期待ください。

※この対談の詳細は公演パンフレットに掲載予定

特集

ジャンルの違う邦楽界のアーティストたちによるコンサート

伝統芸能の今 2014

— 1P

舞台芸術研究センター所長
交代のご挨拶

— 2P

—モノオペラ「ピアフの生きた時代」を語り歌う—
加藤登紀子 春秋座コンサート

— 4P

舞台芸術作品の創造・受容のための
領域横断的・実践的研究拠点

— 6P

琉球王朝の雅を京都で感じる—

琉球舞踊と組踊

春秋座公演

— 3P

心はずむ名曲の数々。これこそミュージカル！

ミュージカル「王様と私」

— 5P

舞台芸術アートマネジメント
人材育成事業

— 6P

京都造形芸術大学舞台芸術研究センター所長交代のご挨拶

2014年4月より渡邊守章に代わり天野文雄が舞台芸術研究センター所長に就任いたします。

センター所長退任にあたって

渡邊守章

縁あって、京都芸術劇場を運営する舞台芸術研究センターの所長に着任して、早くも6年が経とうとしている。始まりは、幾人かの友人の「死の影」に覆われており、私自身もギラン＝バレー症候群なる奇病に冒され、ようやく障害者の生活から抜け出した時だった。

所長企画として真っ先に進めたものは、観世榮夫追善の会である。彼と共に観世鏡之丞のために作った創作能『薔薇の名――長谷寺の牡丹』の春秋座公演であり、幸いにも日経新聞に一面抜き・カラー写真入りの評が出た。次いでクローデルの大作『縞子の靴』の「オラトリオ・ヴァージョン」を野村萬斎入りで作る。以後、所長企画として、服部基照明の元で花道を使う「春秋座一能と狂言」は定着し、鏡之丞のシテ、九郎右衛門の地頭に笛の六郎兵衛、小鼓の源次郎、大鼓の広忠による能と、万作・萬斎、そして逸平を初めとする茂山家の友人による狂言は、春秋座の看板にもなった。2013年、世阿弥生誕650年記念に、観世宗家清和師が歌舞伎舞台上で『翁』を舞われたのも記憶に新しい。

白井剛・寺田みさこ両氏と作ったデュラス『アガタ』ダンス・ヴァージョンは、2010年から3年間、浅田彰氏の提言で、坂本龍一、高谷史郎両氏と作った『マラルメ・プロジェクト』へと接続される。そしてパトリス・シェロー演出のデュラス『苦悩』を初め、現代フランスの先鋭的な舞台の招待…。

この間、行政的に最も重要な事件は、文化庁がようやく京都芸術劇場を「大学における劇場」として公認してくれたことだ。舞台芸術の創造的実践と先端的研究の「装置」として、2013年度からは文科省の大型助成金「共同利用・共同研究」にも選ばれている。

期待が大きいだけに、責任も重い。次期センター所長の下での、一層の発展と深化を祈るものである。



バトンを受けつぐ

天野文雄

この20年あまり、筆者は自身の研究とともに、能上演の現場ともかかわりをもってきました。それは主として観世流シテ方の大槻文藏氏や福王流ワキ方の福王茂十郎氏との協同による廃絶曲の復活上演や現行曲の見直し上演で、回数でいえば、20ほどにもなります。そこでの筆者の仕事は、古台本や現行諸流のテキストを総合しての上演台本の作成、古今の演出資料や上演状況の調査、対象にした能の演劇作品としての分析などですが、このような上演を前提にした協同作業の過程で、筆者は机上の研究では得られない、貴重な恩恵を蒙ってきました。一方、演者のほうも、新しい研究成果などに触れることが刺激となって、それが確実に演者としての成長につながったように思います。

いきなりこんなことを話題にしたのは、もちろん舞台芸術研究センターが標榜する、「舞台創造」と「学術」の融合を念頭においているからですが、もう少し、自身のことを書かせてもらいますと、そこでは研究者と演者が対等の関係にあつて、一方はそこで得たものが研究に還元され、一方は舞台に還元される、両者の関係はそのようなものでした。この協同作業がなかったら、筆者の研究者としての「今」はそうとう違ったものになっているはずですが。

わが国の舞台芸術分野の教育研究は、明治新政府が芸術では美術と音楽を重視したことが尾を引いて、現在も欧米にくらべて大きく後れをとっています。そうしたなかにあつて、舞台芸術研究センターが、渡邊守章所長のリーダーシップのもと、「舞台創造」と「学術」の融合を理念に、刮目すべき活動を続けていることは周知のとおりですが、筆者もそのバトンを受けつぎ、その理想に少しでも近づぐべく、微力を尽くしたいと思っています。



舞台芸術18号 発売！「劇言語―新たな地平へ向けて」

世阿弥生誕六五〇周年記念 特別対談 観世清河寿・渡邊守章
 戯曲：松田正隆『石のような水』／プレヒト＝ミュラー『ファッツァー』
 劇評：記号から事件へ(1995-2013) 池田亮司『superposition』佐々木敦
 ダンス作品『アリア』をめぐって 寺田みさこ×伊藤高志
 論考：パゾリーニ戯曲断想 川村毅

企画編集：京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター 発行：株式会社 KADOKAWA



ご購入は書店または
 舞台芸術研究センターへ
 1500円(税別) B5判

琉球王朝の雅を京都で感じる――

琉球舞踊と組踊 春秋座公演

6月15日(日) 14:00

●公演情報の詳細は
 スケジュール一覧をご覧ください。

「組踊」とは、唄えと音楽、所作、踊りにより構成される、琉球時代の伝統音楽劇です。琉球王の代が替わるたび、新国王任命のために訪れる中国皇帝の使である冊封使をもてなすため、十八世紀初頭の踊奉行・玉城朝薫により創作されました。能や歌舞伎に影響をうけつつ、琉球古来の芸能や音楽もふんだ

んに取り入れた作品が多く、独特の味わいが魅力です。2012年に好評をいただいた春秋座組踊公演につづき、人間国宝の宮城能鳳さん・西江喜春さんが出演。今年は琉球舞踊と組踊の2本立てでお送りいたします。

第一部 琉球舞踊

「花風」ほか 出演 宮城能鳳(人間国宝)ほか

女形の第一人者が、琉球舞踊の最高峰の一つ「花風」を踊ります！恋人が旅立つ船を遠くからそっと見送る遊廓の女性を写したもので、番傘をかかげた美しい様が見どころです。

第二部

組踊『執心鐘入』

出演 中城若松：西門悠雅
 宿の女：佐辺良和
 座主：眞境名正憲 ほか
 地謡 歌・三線 西江喜春(人間国宝) ほか

いわゆる「道成寺もの」に分類される人気作品。激しく感情が変化する女の役を琉球王朝の格式を外すことなく演じるのが難しいとされます。



琉球舞踊・組踊を観るだけでなく、耳でも楽しむ [茂木仁史(国立劇場おきなわ調査養成課長)]

沖縄では昔から「組踊は観に行くのではなく、聴きに行く」といいます。三線や胡弓、独特のツメで弾く琴など、組踊を彩る楽器をご紹介します。

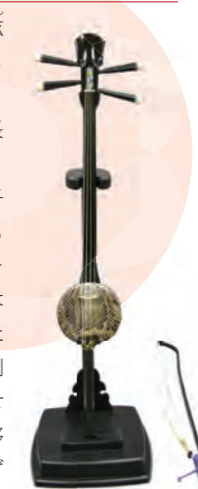
三線さんしん

沖縄を代表する撥弦楽器。14世紀末に中国の三弦が琉球王国に渡来し、大きさなど独自の変化を遂げて三線となった。棹は琉球黒檀などの堅い木を用い、胴は横や櫛などでニシキヘビの皮を張る。演奏は水牛の角などから作ったツメを人差し指に嵌めて弾する。土族の楽器だったが、次第に庶民へも普及し、民俗芸能の発展にも寄与した。なお、16世紀半ばには日本本土に渡り、三味線に变身して日本の近世音楽に多大な影響を与えた。



胡弓くーちよー

三弦または四弦の擦弦楽器。三線を小型にした形だが、胴が碗形で、胴の下の支え部分が長い。棹は琉球黒檀など、胴は横や櫛のほか椰子の実を半球に割ったものなどを用い、ニシキヘビの皮を張る。弓は馬の尻尾の毛を張ったもの。演奏は弓を外側から弦に当て摩擦させて音を出す。他の弦に移る時は弓の角度は変えずに胡弓の棹を回して移る。現在は低音の出る四弦が主流となっている。



太鼓たいこ

沖縄の古典音楽では、締太鼓と平胴太鼓を対で用いる。締太鼓は能や長唄などで用いられるものと同じで、平胴太鼓は割り抜きの短胴に牛革をびょうど鉾留めしたものを枠に吊り下げて用いる。ただし、この形に定着したのは戦後のことで、琉球王国時代は鼓なども使用されており、また明治～戦前は長胴の太鼓なども使われていたことが記録されている。



笛ふえ

笛は沖縄本島では「ふいー」、八重山では「びー」と呼ぶ。六孔(穴が6つ)の横笛で、中国の明時代の笛と基本構造が同じである。琉球王国では明や清の音楽を「御座楽」といい、江戸上りの際などに演奏してきた。その伝統は絶えてしまったが、笛は琉球舞踊や組踊など古典音楽の伴奏楽器として重要な位置を占め、今日に伝世した。調子により、長さの違うものを用いる。



箏こと

現在沖縄に伝わる箏曲の伝統は薩摩から伝わったもので、日本箏曲の流れを汲んでいる。三線の伴奏楽器として用いられるようになったのは19世紀初め頃からで、組踊の音楽に華やかなアクセントを与えた。右手の三指に嵌めて演奏するツメは、生田流や山田流とは異なり、丸みのある形状をしている。また、弦を本土の箏よりも緩く張り、低音のゆったりとした音色を響かせる。



主催：京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター、国立劇場おきなわ 平成26年度文化庁大学を活用した文化芸術推進事業

不動の人気を誇る
加藤登紀子の歌声
を春秋座で

加藤登紀子 春秋座コンサート

5月24日(土) 16:30

●公演情報の詳細は
スケジュール一覧をご覧ください。



昨年7月、東京オーチャードホールにて加藤登紀子がエディット・ピアフ没後50年に因んだコンサートを行ない、シャンソンの神と讃えられたピアフそのものに化身して、彼女の人生を歌い綴りました。

初の春秋座公演では、このピアフと、最も深い友情で彼女を支え続けたマレーネ・デートリヒに焦点を当て、二人を繋ぐストーリーを加藤登紀子が時にデートリヒとなり、時にピアフとなって語り、歌う、モノオペラとしてお届けします。

予定曲目：

パダンパダン/名前も知らないあの人へ/パール・ラシェーズ/リリー・マルレーン/愛の讃歌/バラ色の人生/百万本のバラ ほか。



加藤登紀子さんインタビュー

ピアフの歴史を歌う

私は、今まで『バラ色の人生』や『愛の讃歌』などピアフの代表曲をコンサートなどで歌ってきました。ですが自伝などで彼女の歴史をひも解いてみると、彼女自身の人生は100ぐらいの素晴らしいオペラでできていると感じました。今回は、人間としてのピアフの歴史を露わにしたいと思ったんです。

デートリヒとピアフ

ピアフは、15歳年上で第一次大戦前のドイツに生まれ、アメリカに渡った大女優で歌手のマレーネ・デートリヒのファンでした。2人が出会ったのは第二次世界大戦後のアメリカ。ピアフがフランスだけでなくNYでも成功した頃です。

ですがその後、恋人のマルセル・セルダンが死んでしまったり、彼女自身も交通事故に遭い精神的にも肉体的にもボロボロになってしまう。そんな彼女を支え続けたのがデートリヒでした。彼女自身、一番苦しかった時の話をする時、よく「マレーネ・デートリヒが助けてくれたのよ」と言っています。そしてデートリヒはピアフのお墓に最後に土をかけた人でもあるんです。ピアフの人生は、20世紀を90年近く生きたデートリヒの人生の中にスッポリと挟まれているような感じでもあります。ですから、ピアフを一番よく知るデートリヒに彼女の人生を語ってもらおうと考えたんです。

歌われなかった曲

ピアフは1963年10月に47歳の若さで亡くなりますが、この年、大々的なアメリカツアーを予定していたんです。これはあまり知られていない話。そして、この年、晩年のピアフの重要な作曲家でありピアニストだったシャルル・デュモン^{*1}が新曲を作り、ジャック・ブレレル^{*2}が詞を書きました。でも彼女は病気で衰弱して歌える状態ではなかった。それで今まではデュモンが自らの曲として歌っていたんです。ところが先日、テレビのドキュメントがつかとめたピアフ最後の肉声音源の中に「シャルル・デュモンが新しい曲を書いてくれたから、それを歌いたいの」という一言があったんです。

今回はこのピアフが歌わなかった、ピアフのために作られた最後の曲『あなた次第』も歌いたいです。それがピアフからみんなに届けられた最後のメッセージみたいな感じになるといいなと思って。日本語訳の詞もできて、歌の練習も始めているところ。聴きやすく、馴染みやすい優しい曲。優しさの中に厳しさもあって、響く歌なんです。

今年末から私はデビュー50周年でピアフは生誕100年。そして私がデートリヒと同じ誕生日で、同時に母がピアフと同じ年なんです。そんなこともあり、このモノオペラはずっとこだわって作ってきて、どこかで形にしたいなと思っていました。そして、このピアフ物語は、今年は春秋座でしかやらない予定です。ですので、ぜひ、みな様、聴きにいらしてくださいね。

^{*1}シャルル・デュモン
1929年にフランス南西部カオールで生まれた俳優、作曲家、歌手。
^{*2}ジャック・ブレレル
1929年にベルギーで生まれフランスで成功したシャンソン歌手、作詞作曲家。

ロングインタビューは後日劇場HPに掲載。お楽しみに！

心はずむ名曲の数々。これこそミュージカル！

ミュージカル「王様と私」

7月19日(土) 12:00/17:00

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

「ミュージカルの楽しさを全国に！」というハロー・ミュージカル！プロジェクトの趣旨に賛同して豪華出演者が集結。費用の多くを企画・製作の（一社）映画演劇文化協会が負担することで、3500円という特別価格でミュージカル観劇が実現しました。

シャム王役には円熟した演技を見せる松平健が、アンナ役は元宝塚歌劇団月組トップスターの紫吹淳が出演。可憐なタブチム役はNHK「おかあさんといっしょ」の歌のおねえさんで活躍した、はいだしょうこ。また「マツケンサンバ」でもおなじみ真島茂樹が、ジェローム・ロビンスのオリジナルを踏まえ振付を担当し、サイモン王役としても出演します。「シャル・ウィ・ダンス?」「仲良くしましょう」など名曲と共にダイナミックなダンスで綴る、楽しく華やかなブロードウェイの傑作『王様と私』は、ミュージカルを初めて観る小・中学生にもおすすめです。全国ツアー3年目で集大成を迎える今年、いよいよ待望の京都公演を春秋座で開催します。

ぜひ、お見逃しなく！



1860年代のバンコク。シャムの王様は王子、王女らに西洋式の教育を受けさせるため、イギリス人アンナを家庭教師に雇い入れる。王様とアンナは、はじめは習慣や立場の違いから対立していたが、やがて2人の心は通じ合い、絆を深めていった。隣国から貢ぎ物として王様に献上されたタブチムにはルンタという恋人がおり、王様に隠れ密かに愛をはぐくんできた。ある日、イギリスの特使ラムゼイ卿が突然バンコクにやってくる。シャムを植民地にするための視察ではと驚く王様に、アンナは西洋式の晩餐会で特使を歓迎しようと提案する。王様の命令で、国を挙げての準備が始まった…。

シャム王 松平健
アンナ 紫吹淳
タブチム はいだしょうこ

ラムゼイ卿 橋爪淳
チャン夫人 花山佳子
総理大臣 磯部勉
ルンタ 石井一彰
サイモン王 真島茂樹
オルトン船長 園田裕久



毎年、薫風香る京都に 今年も落語を超えた落語がやって来る！
満員御礼の人気公演を今年も

立川志の輔 独演会

今年で6年目を迎える満員御礼の人気公演です。
立川志の輔独自の視点で現代を語り、古典・新作を問わず落語に新しい息吹を吹き込む「志の輔らくご」。定期公演も含め年間150本以上の落語会を開いています。
今年も春秋座でどんな斬が出るのか。ご期待下さい。

昨年のアンケートより

- 今年で5回目です。毎回とても素晴らしいと思います。来年もまた来たいです。(女性)
- 今回初めて生の落語を見ました。CDやTVではよく見るのですが、劇場ではまた違った雰囲気、客席の緊張感なども含めて、演目なのだと感じました。(30代男性)
- 細々としたところまで気を配って、人間の根底にある情を落語を通して奥深く語れる志の輔さんは、数少ない落語家だと思います。それをこのすばらしい春秋座で見ることが出来て光栄でした。続けられる限り、続けていただきたいです。(50代男性)
- 今年も春秋座の独演会にきました。ここに来ないと京都に来た気がしません。東京周辺での公演とは違った空気がたまりません。(50代男性)

5月31日(土) 13:00/17:00

◎公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。



共同利用・共同研究拠点形成事業 舞台芸術作品の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点

舞台芸術研究センターは平成25年度より、文部科学省の定める共同利用・共同研究拠点到認定されました。これは、広範な学術研究の発展のため、個々の大学の枠を越え設備や資料などを全国の研究者が共同で利用し、研究をおこなう体制を整備し、学術研究の基盤を強化することを目的に、文部科学省が設けた制度です。当センターでは、本学研究者が中心となって行う「テーマ研究課題」と、学外の研究者に広く課題を公募する「公募研究課題」を実施。京都芸術劇場を使用した、いわば「劇場実験」を核とするプロジェクトをとおして、学術研究の基盤強化および新たな学術研究の展開を目指します。

【平成26年度のテーマ研究】

- テーマ研究Ⅰ
「クロード・ド・ラ・コッセル『繻子の靴』上演のための実践的研究」
研究代表者：渡邊守章（演出家/京都造形芸術大学客員教授）
- テーマ研究Ⅱ
「コンテンポラリーダンスの創造性と方法論をめぐる実践的研究」
研究代表者：山田せつ子（舞踊家/京都造形芸術大学客員教授）
- テーマ研究Ⅲ
「マルチメディアシアターの再定義」をめぐる実践的研究
研究代表者：森山直人（京都造形芸術大学舞台芸術学科教授/演劇批評）
- テーマ研究Ⅳ
「舞台衣裳のモダニティに関する実践的研究」
研究代表者：岩村原太（京都造形芸術大学舞台芸術学科准教授/舞台照明家）
- テーマ研究Ⅴ
「アジアの大学における演劇教育――劇場を活用した舞台教育の方法論的探究」
研究代表者：平井愛子（京都造形芸術大学舞台芸術学科教授/舞台演技論）
- ※それぞれ一般公開の研究会も行います。詳細決定次第、劇場HPに掲載します。

「大学の劇場」を活用した総合的な舞台芸術アートマネジメント人材育成事業

京都造形芸術大学舞台芸術研究センターでは、舞台芸術の未来を切り開く「真に創造的なアートマネジメント人材」の発掘・育成、およびリカレント教育（回帰教育）を目的として、「大学の劇場」としての京都芸術劇場の諸機能を活用しながら「伝統」から「コンテンポラリー」まで、複数のジャンルからなる以下のアートマネジメント人材育成プログラムを開催いたします。

平成26年度プログラム（予定）

- I 制作者のためのレクチャープログラム
- II 公演制作の実践プログラム

※一般の方も聴講できる講座もございます。
講義の詳細などは劇場HPで随時ご紹介します。

- 対象……
- ・次代の舞台芸術を担うべく、これからキャリアを積もうとしている制作志望者
 - ・すでに制作者としてのキャリアを積み、今後のスキルアップのためにさらなる知見と経験を求めている制作者
 - ・すでにキャリアを積んだ上で、舞台芸術の新たなジャンルの知見や業務を学ぶことによって、トータルな視野を備えリーダー的存在として飛躍を志す制作者



平成26年度 文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業

4 april 2014

14日(月) 16:30	公開連続講座①	日本芸能史「総論」	理論：諏訪春雄
21日(月) 16:30	公開連続講座②	日本芸能史「和琴」	実演：平安雅楽会 解説：木戸敏郎
28日(月) 16:30	公開連続講座③	日本芸能史「カヤグム」	実演：金海淑

5 may 2014

10日(土) 15:30、11日(日) 12:00/15:30	◆春秋座	芸術監督プログラム ゴールドリボン+世界の子どもにワクチンを チャリティ企画 伝統芸能の今2014	◎特集▶P.01
【発売中・全席指定】		一般 6500円 友の会 5500円 シニア 6000円 学生&ユース席 3000円(座席範囲指定)	
T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協 ※未就学児の入場はご遠慮下さい。			

12日(月) 16:30	公開連続講座④	日本芸能史「琴」	実演：京都當道会
19日(月) 16:30	公開連続講座⑤	日本芸能史「中国の伝統音楽」	理論：王維

24日(土) 16:30	◆春秋座	―モノオペラ「ピアアの生きた時代」を語り歌う―	◎特集▶P.04
【発売中・全席指定】		一般 6000円 友の会 5000円 シニア 5500円 学生&ユース席 2500円(座席範囲指定)	
T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協 アクティブKEI			

26日(月) 16:30	公開連続講座⑥	日本芸能史「楽器(二胡・胡弓)」	実演：木場大輔 鳴尾牧子 解説：茂手木潔子
--------------	---------	------------------	--------------------------

31日(土) 13:00/17:00	◆春秋座	立川志の輔 独演会	◎特集▶P.06
【発売中・全席指定】		一般 4000円 友の会 3200円 シニア 3600円 学生&ユース席 2000円(座席範囲指定)	
T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協 ※未就学時の入場はご遠慮下さい。			

T-C 京都芸術劇場チケットセンター
e+ イープラス http://eplus.jp
生協 京都、滋賀各大学生協プレイガイド
OTS 劇場オンラインチケットストア
CN CNプレイガイド
KBS KBS京都事業部 TEL.075-431-8300 (10-17時※土・日・祝除く)
ぴあ チケットぴあ http://t.pia.co.jp TEL.0570-02-9999
新聞 京都新聞文化センター(京都新聞社1F) TEL.075-256-0007 (10-17時※土・日・祝除く)
L-T ローソンチケット
*記載のないものについての開場は開演30分前 *特に標記のない場合、前売と当日は同じ料金 *ユースは25歳以上対象(一部公演を除く)
*学生・ユース・シニアは身分証明書提示

6 june 2014

2日(月) 16:30	公開連続講座⑦	日本芸能史「琉球芸能」	実演：西江喜春 解説：茂木仁史
9日(月) 16:30	公開連続講座⑧	日本芸能史「常磐津」	実演：常磐津都菟蔵 常磐津都史

15日(日) 14:00	◆春秋座	琉球舞踊と組踊 春秋座公演	◎特集▶P.03
【一般発売4月9日(水)10:00、友の会先行発売4月8日(火)10:00・全席指定】		一般 3500円 友の会 3000円 シニア 3200円 学生&ユース 2000円	
T-C OTS ぴあ e+ 生協			

16日(月) 16:30	公開連続講座⑨	日本芸能史「日中伝統版画」	理論：諏訪春雄
--------------	---------	---------------	---------

23日(月) 16:30	公開連続講座⑩	日本芸能史「絵解き」	理論：林雅彦
--------------	---------	------------	--------

30日(月) 16:30	公開連続講座⑪	日本芸能史「中国の仮面劇」	理論：廣田律子
--------------	---------	---------------	---------

7 july 2014

7日(月) 16:30	公開連続講座⑫	日本芸能史「京劇」	実演：石山雄太
-------------	---------	-----------	---------

14日(月) 16:30	公開連続講座⑬	日本芸能史「歌舞伎」	理論：田口章子
--------------	---------	------------	---------

19日(土) 12:00/17:00	◆春秋座	ミュージカル 王様と私	◎特集▶P.05
【一般発売4月16日(水)10:00、友の会先行発売4月15日(火)10:00・全席指定】		一般 3500円 学生&ユース席 2500円(座席範囲指定)	
T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協 KBS ※未就学時の入場はご遠慮下さい。			

21日(月)	公開連続講座⑭	拡大版「比較芸能史」シンポジウム+実演	
--------	---------	---------------------	--

募集中!

【京都芸術劇場友の会 会員】

《京都芸術劇場友の会》では、劇場の活動をより知っていただくため、会員の皆様に公演の詳しい情報をいち早くお知らせし、また、チケット割引や先行販売を通じて、少しでも早く劇場をご利用いただけるようサービスを行っております。ご用意できる特典はさまざまですが、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

《会員特典》

- ① 情報誌「京都芸術劇場ニュースレター」(年3回)や公演チラシを定期的にお届け!
- ② 京都芸術劇場チケットセンター(窓口・電話・オンラインストア)で会員番号によるチケット予約、1公演お一人様4枚(公演により異なる)まで割引料金にて購入可能!(公演により、予約・割引のない場合、窓口・電話のみの対応の場合もございます。)
- ③ 当劇場主催公演など、会員限定の先行販売あり!
- ④ 春秋座、studio21で行われる公開講座、公開シンポジウムなどもご案内!

《入会方法》

Case 1. 劇場チケットセンター窓口にてお申し込み(窓口受付/月~金 10~17時)

Case 2. 郵便振替にてお申し込み

劇場郵便口座へ年会費 2000 円をお振込ください。

郵便局で青色の振込用紙にご記入ください。(振込み手数料別途 100 円程かかります。)

[口座番号] 00970-7-176517 [加入者名] 京都造形芸術大学 京都芸術劇場

[通信欄] ①友の会 新規入会 ②お名前(フリガナ) ③生年月日 ④ FAX(あれば)

[ご依頼人] お客様の住所・氏名・電話番号(わかりやすい字ではっきりとご記入ください。)

【オンライン会員】

登録無料! 24 時間ご予約可能! 選べる受取・お支払い方法!

公演情報をメールでお知らせ!

詳しくは、オンラインチケットストア(右記)へアクセス下さい。

(友の会にご入会いただくと、自動的にオンラインに登録いたします。)

『猿之助への軌跡展』が 開催されました

昨年 12 月 5 日(木)から 23 日(月・祝)まで春秋座ホワイエにおいて、四代目市川猿之助の襲名と春秋座芸術監督就任を記念して「猿之助への軌跡展」を開催しました。

この企画は、二代目亀治郎時代から猿之助襲名にいたるまでを、大迫力の舞台写真を中心にお気に入りの舞台衣裳やフィルム上演を行い、辿っていくというものです。さらに春秋座椿落とし公演での「春秋三番叟」や「亀治郎の会」旗揚げ公演の写真や映像など、当劇場ならではの貴重な資料も展示し、たくさんのお客様で賑わいました。

芸術監督プログラムもいよいよ始動。今後の展開をどうぞ楽しみに。



撮影: 桂秀也



撮影: 桂秀也

チケットお問合せ先

京都芸術劇場チケットセンター

tel.075-791-8240

営業: 平日 10:00-17:00・公演開催日

京都造形芸術大学
舞台芸術研究センター

京都芸術劇場 春秋座・studio21

606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116

tel.075-791-9207 fax.075-791-9438

URL: <http://www.k-pac.org/>

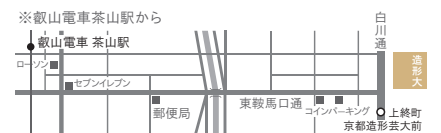
E-mail: k-pac@kuad.kyoto-art.ac.jp

京都芸術劇場ブログ

<http://www.kyoto-art.ac.jp/blog-theater/>

京都芸術劇場

検索



◎ JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から
京都市バス 5 番「岩倉」行き乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車
(京都駅から約 50 分、三条駅・河原町駅から約 30 分)

◎ 京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から
京都市バス 204 循環に乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車(約 15 分)

◎ 京阪電車出町柳駅から
叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約 10 分

発行/編集

京都造形芸術大学
舞台芸術研究センター

デザイン 吉羽 一之(シンプルホープ)

京都芸術劇場ニュースレター
vol.28 発行日—2014 年 4 月 1 日